

平成 23 年度 川崎市国際交流センター 事業報告書

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

<情報収集・提供事業>

■ 図書・資料室の運営

川崎市国際交流センターの図書・資料室の運営において、図書、資料、新聞、雑誌、ビデオなど国際交流関係図書等の充実を図るとともに、利用者への情報提供を行った。

- (1) 利用時間 午前 10 時～午後 8 時 (開館日)
- (2) 利用対象 小学校高学年以上
- (3) 複写 1 枚 10 円 (資料の必要箇所を著作権法の範囲でコピー可とした。)
- (4) 閲覧等 閲覧利用とし、学校等公的団体への貸出しを行った。
- (5) 利用者数 12,458 人
- (6) 閲覧件数 図書等 (2,979 件) ビデオ (334 件) CD (60 件) DVD (31 件)
- (7) 閲覧図書上位 1. 辞書・辞典・事典 2. 児童向け図書 3. 語学学習図書
4. 日本関連図書 5. 世界関連図書
- (8) 蔵書数

書 籍	14,217 冊 和図書 11,796 冊 外国語図書 2,421 冊
新 聞 (日刊・週刊など)	18 紙 英語 1 紙 韓国・朝鮮語 1 紙 中国語 3 紙 日本語 11 紙 フィリピン語 1 紙 日本語 / 中国語 1 紙
情 報 誌	35 誌 和雑誌 24 誌 外国語雑誌 11 誌 在日外国人向け生活情報誌 9 誌
ビデオテープ	474 巻
新聞スクラップ	98 タイトル 390 ファイル

(平成 24 年 3 月末現在)

(9) 資料の分類

一般図書 (和書・ 海外図書)	国際交流・ 国際関係	000 国際交流	050 在日外国人問題
		010 戦争と平和	060 日本人 (海外生活)
		020 人権問題	070 語学学習
		030 開発援助	080 国際関係
		040 地球環境問題	090 その他

	各国別図書	100 日本 200 アジア 300 ヨーロッパ 400 アフリカ	500 北米 600 中南米 700 オセアニア 800 世界
	その他図書	900 参考図書 910 辞書・辞典・事典 920 便覧・ハンドブック 930 名簿・ダイレクトリー	940 年鑑・白書 950 法令集 960 地図 990 児童向け図書
雑誌	和雑誌・外国語雑誌		
新聞	日本・海外		
ビデオ/DVD	日本紹介・海外紹介など		
CD	語学学習		
その他	各都道府県交流協会情報紙・NGOニューズレター・ 各国大使館・観光局資料・新聞スクラップ		

(10) 各国語の新聞リスト

新聞名	言語	頻度	出版地
THE JAPAN TIMES	英語	日刊	日本
人民日報（海外版）	中国語	日刊	中国
中日新報	日本語／中国語	月刊	日本
大富報	中国語	隔週刊	日本
留学生新聞	中国語	隔週刊	日本
日中新聞	日本語	週刊	日本
中国巨龍	日本語	週刊	日本
東亜日報	韓国・朝鮮語	日刊	日本
東洋経済日報	日本語	週刊	日本
民団新聞	日本語	週刊	日本
PINOY GAZETTE	フィリピン語	隔週刊	日本

※中国語新聞の多くは寄贈によるもの (平成24年3月末現在)

■情報ロビー等の運営

国際交流センターの各種施設を活用し、市民及び外国人への情報提供を行った。

(1) 外国人への情報提供（情報ロビー）

外国語専用のパンフレットコーナー及び掲示板を設置し、外国人市民への情報提供を行った。

(2) 国際交流に係る資料や作品の展示（情報ロビー）

国内外の文化に身近に接してもらうため、写真や絵画などの展示を行った。

(3) 姉妹・友好都市の紹介（ギャラリー）

姉妹・友好都市との盟約書及び記念品等を展示し、姉妹・友好都市の紹介を行った。

- (4) 国際交流に関わる情報提供（談話ロビー、プロムナード）
国際交流や国際協力、また他団体などの各種事業、イベントなどのポスター、チラシ、パンフレットを掲示・配布し、市民への情報提供を行った。
- (5) 国際交流に関わる情報交換（談話ロビー）
市民や外国人市民、団体などからの情報をメッセージボードに掲示し、相互の情報交換を行った。
- (6) 音楽などのイベント開催
世界の音楽を気軽に楽しんでもらうため、ミニコンサートを実施した。
- (7) 各国紹介パネルの展示（プロムナード）
在日大使館などから提供されたポスターをパネルとしてプロムナードに掲出し、紹介するとともに、センターの国際的な環境づくりを行った。

■情報ロビーでの催事

来日して間もない1歳未満の乳幼児を持つ親子が、日本語を楽しく学びながら、日常生活で役立つ日本語を身につけられる場を提供した。またミニ交流会への場所の提供を行った。

	催 事 内 容	主 催 団 体 等	日 時
1	親子で学ぶ日本語ひろば 外国人親子（8組）	(財) 川崎市国際交流協会	11/1 11/8 11/15 11/22 11/29 10:00~11:30
2	かわさき国際交流民間団体協議会 ミニ交流会	かわさき国際交流民間団体 協議会	11/12
3	かわさき国際交流民間団体協議会 ミニ交流会	かわさき国際交流民間団体 協議会	2/4
4	陸前高田の写真とともに・・・ 絵本[松の木のうた]読み語り	NPO法人 A i d T A K A D A	3/20

■情報ロビーでの展示

国際交流の拠点として、来館者が気軽に世界各国の文化や、国際交流の写真や絵画などに触れられるよう、展示場所の提供を行った。

	展 示 内 容	主 催 団 体 等	展 示 期 間
1	キルギス舞踊団 シャティック公演写真展	かわさき国際交流民間団体協 議会	4/11～5/6
2	川崎市・シェフィールド市 交流写真展	かわさき音楽交流協会	5/8 ～5/15 6/6 ～6/12
3	ブレーメン・ロイドパサージュ 音楽交流会写真展示（日独交流15周 年記念）	（財）川崎市国際交流協会	6/10 ～7/5
4	エチオピア児童画展	日本エチオピア協会	8/16 ～8/27
5	陸前高田市写真展	NPO法人 A i d T A K A D A	9/10～ 9/17
6	E S A 写真展 紅茶農園の子どもたち バングラディッシュから	特定非営利活動法人 E S A アジア教育支援の会	10/17～10 /30
7	日本語講座受講生による書道展	（財）川崎市国際交流協会	11/4～12/5
8	友好都市提携30周年記念 中国・瀋陽市民交流団写真展	（財）川崎市国際交流協会	11/9～3/31
9	「第20回川崎ジュニア文化賞」受賞 作品紹介展	（財）川崎市国際交流協会	12/7～2/18
10	東日本大震災3県被災地支援パネル展 示	（財）川崎市国際交流協会	2/19～3/31

■ 談話ロビーでの催事

国際交流センターへの来館者が、世界の芸術文化に親しんでもらえるよう、無料の音楽会の場所の提供を行った。

	催 事 内 容	主 催 団 体 等	日 時
1	チェンバロの響き ～優雅なバロック音楽と楽しいトーク	川崎・シェフィールド市民交 流団 2010	10/15 15:00～16:30
2	ライオンハウスコンサート ヴォーカル、ギター、ハーモニカ	演 奏 中 井 大 悟	① 1/21 13:00～14:00 ② 3/17 12:00～13:00
3	南米の民族音楽のタペ	(財) 川崎市国際交流協会 演 奏 クントゥール	3/ 1 16:00～17:00

■ センターホームページ等の運営

国際交流センターのホームページならびに館内のインターネットを通じて、各種の情報提供を行った。

(1) ホームページの運営

国際交流センターの専用ホームページを通じて、センター施設の紹介及びセンター事業の広報ならびに情報提供を行った。また、ホームページの迅速な更新を行った。

(アクセス件数) 57,341件(162アクセス/日)

(更新数) 722回

(URL) <http://www.kian.or.jp/kic/>

(2) インターネット用パソコンの設置

インターネット接続のパソコン2台を設置し、市民への情報提供を行った。

(利用時間) 午前9時30分～午後8時00分(休館日を除く)

(利用内容) インターネットの閲覧のみ。

(利用料) 無料。1回あたり30分まで

(利用件数) 1,611件

〈広報出版事業〉

■国際交流センターだより等の発行

1 「国際交流センターだより」の発行

- (目的) 国際交流センターをより身近な施設として利用していただくため、センターの催し物や講座、施設についての情報をニューズレター形式で発信した。
- (発行) 年間11回(月刊、但し、7・8月号は合併号とした。)
- (部数) 4,000部/回
- (内容) ○月間の行事予定 ○講座及び行事の募集 ○図書・資料室の注目新書紹介
○施設点検日・休館日のお知らせ ○その他
- (配布先) 各区役所、市民館、図書館など公共施設、川崎市内公立学校、中原区住吉地区町内会に回覧、その他国際交流関係機関など

2 かわさき国際交流センターニュース「SIGNAL」(シグナル)の発行

- (目的) センター等の事業ならびに市内の国際交流活動、ボランティア活動などを紹介し、国際交流について広く市民に情報を提供した。
- (発行) 年4回(季刊)
- (発行部数) 6,000部/回
- (編集等) 協会所属のボランティアが編集、取材、原稿作成、校正、発送などを行った。
- (配布先) 各区役所、市民館、図書館などの公共施設、私立幼稚園、保育園子育て支援施設、市内公立学校、高校、大学等、協会登録ボランティア、国際交流関係団体等

〈研修事業〉

■日本語講座

外国人市民等の日本語学習を支援するため、段階別クラス編成による少人数の日本語講座を通年にわたり開講した。また、受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

(1) 日本語講座の開催

(講座)

○午前コース(09:50~11:50) 年間3期、週2回(火、金)、保育を実施

1学期:4/19~7/8(22回)、2学期:9/20~12/6(22回)、3学期:1/13~3/9(17回)

○夜間コース(18:30~20:30) 年間3期、週1回(水)

1学期:4/20~7/13(12回)、2学期:9/7~12/21(15回)、3学期:1/11~3/7(9回)

(講師) 協会登録の日本語講座ボランティア

(場所) 川崎市国際交流センター・会議室

(受講者) 延べ272名(31の国・地域)

(2) 特別講座等の開催

受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

- ①手工芸講座 5月31日、11月22日 受講生他31名
- ②市内視察 6月3日 受講生、日本語ボランティア、子ども 45名
- ③七夕祭り 7月6日 受講生、日本語ボランティア 36名
- ④書道体験 10月28日、11月2日 受講生（午前コース、夜間コース）のべ78名
- ⑤梨もぎ体験 9月10日 受講生、日本語ボランティア 18名
- ⑥お茶体験 2月3日 受講生、日本語ボランティア 49名
- ⑦消防体験 2月21日 受講生、日本語ボランティア、子ども 65名
- ⑧スポーツ体験 3月7日 受講生、日本語ボランティア 36名

(3) 日本語講座ボランティア登録事前研修

日本語講座ボランティアへの登録を目的として事前研修を開催した。

- (日 時) 平成23年10月29日、
11月12日、11月26日、
12月3日、12月10日、
平成24年1月7日、1月14日、1月21日、1月28日、
2月4日、2月25日
3月3日
各土曜日 午後2時～4時
- (講 師) 日本語教育学会員
(場 所) 川崎市国際交流センター
(参加者) 11名

(4) 日本語講座ボランティア研修会の開催

協会登録の日本語講座ボランティアを対象に、ボランティア研修会を開催した。

- (日 時) 平成23年11月12日(土) 午後13時～15時
(講 師) 中級テキスト著者
(場 所) 川崎市国際交流センター
(内 容) 中級テキストを使っての活動の仕方
(参加者) 協会登録日本語講座ボランティア 33名

■ 国際理解講座

市民の国際理解を深めるため、日本語、外国語(英語、中国語)のほか文化を通じた国際理解講座を開催した。

1 国際理解講座

(1) 日本語による国際理解講座

日独交流 150 周年を記念し、ドイツを中心にヨーロッパの国の出身者や国際理解に精通している講師に、歴史・食・文化・世界遺産などについて写真や映像を交えながら講義を受け、その国の食べ物の試食などを行いながら国際理解を深めた。

(期間) 平成 23 年 11 月 5 日 (土)、11 月 26 日 (土)、12 月 10 日 (土)

(時間) 午後 2 時～3 時半

(会場) 国際交流センター2 階 団体活動ルーム AB

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	11/5(土)	「ドイツ・モーゼルワイナリーの1年」 葡萄の栽培から収穫、ワインの製造まで、 モーゼルワイナリーの1年の仕事について 映像を通じて紹介。	ドイツセンター代表	38 名
2	11/26(土)	「チェコの世界文化遺産」 チェコについて、写真を交えながら、代 表的な建造物を歴史的・文化的な視点で解 説。	東京外国語大学講師	38 名
3	12/10(土)	「ギリシャの食文化」 ギリシャ料理の歴史的背景や食事習慣、代 表的な家庭料理など、食文化について写真 を交えて紹介。	早稲田大学講師	38 名

2 外国語による国際理解講座

(1) 英語による国際理解講座

当協会登録ボランティアなどの外国人市民等を講師に招き、中級レベル以上の英語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。それぞれの母国の文化や社会問題、日本での異文化体験について、講義と交流を行った。

(期間) 平成 23 年 5 月 28 日 (土)、6 月 11 日 (土)、7 月 9 日 (土)

(時間) 午後 2 時～4 時

(会場) 国際交流センター2 階 団体活動ルーム AB

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	5/28(土)	“Style Tribes of the Sixties” 「英国の 60 年代スタイル」	十文字学園女子大学 准教授	42
2	6/11(土)	“Multiculturalism in Taiwan, Canada and Japan” 「台湾、カナダと日本における多文化社会」	川崎市総務局	42
3	7/9(土)	“Skepticism and Freethought” 「懐疑主義と自由主義」	フェリス女学院大学 講師	42

(2) 中国語による国際理解講座

当協会登録ボランティアなどの外国人市民等を講師に招き、中級レベル以上の中国語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。それぞれの母国の文化や社会問題、日本での異文化体験について、講義と中国文化の体験、交流を行った。

(期間) 平成23年12月3日(土)、12月10日(土)、12月17日(土)

(時間) 午後2時～4時

(会場) 国際交流センター2階 団体活動ルームAB

	日 程	内 容	講 師	受講者
1	12/3(土)	水墨画を楽しむ 歴史と鑑賞の仕方 講義およびパフォーマンスと体験	水墨画家、中国語講師	33
2	12/10(土)	中国の茶文化を楽しむ ～プーアル茶を中心に～ 講義およびパフォーマンスと体験	茶芸師・中国茶店経営	33
3	12/17(土)	新語を通して21世紀の 中国社会をみる	中国語学院院長	33

3 国際文化理解講座(講座名「瀋波雑技団による Show と雑技体験」)

友好都市提携30周年記念として、瀋陽および瀋陽雑技団出身で日本で活躍中の瀋波雑技団が瀋陽や雑技を紹介する講座を行い、中国瀋陽市への理解を深めた。

(期 間) 平成24年2月25日(土)

(会 場) 川崎市国際交流センター・ホール

(時 間) 午後2時～4時

(講 師) 瀋波雑技団団長、他

(内 容) 第一部 瀋陽市・中国雑技についての講義
第二部 中国雑技 中国雑技ショーと体験

(参加者) 230名

<国際交流促進事業>

■日本語スピーチコンテスト

川崎市内の大学や専門学校の留学生及び日本語講座の受講生等を対象に、日本語スピーチコンテストを開催し、日本人と外国人との相互理解を深めた。また、交流会を開催し、出演者と聴衆、関係者との交流を深めた。

- (期 日) 平成24年2月18日(土) 午後1時～午後5時
- (会 場) 川崎市国際交流センター・ホール他
- (内 容) スピーチコンテスト、交流会
- (主 催) 主催：財団法人 川崎市国際交流協会
- (対 象) 日本語を母語としない来日5年以内の外国人で、市内の大学、専門学校の留学生、市民館等の日本語講座の受講生等
- (出場団体等) 7団体 14名
- | | |
|-------|----------------|
| 中 国 | 「私の日本人の友達」 |
| 中 国 | 「私が作りたいもの」 |
| 中 国 | 「野球は人生??」 |
| 中 国 | 「自分で体験する事の大切さ」 |
| 中 国 | 「距離の関係」 |
| ベトナム | 「円から縁へ」 |
| ベトナム | 「成 長」 |
| ベトナム | 「私の留学生活」 |
| 韓 国 | 「チョコレート」 |
| 韓 国 | 「おもしろい日本」 |
| アメリカ | 「国際化の大切さ」 |
| タ イ | 「やってみれば・・・」 |
| ドイツ | 「私のクリスマス」 |
| フィリピン | 「たからもの」 |
- (聴衆 参加者) 180名
- (交流会参加者) 120名
- (ミニコンサート) 「揚琴」の演奏

■国際文化交流会

市民の国際理解を深めるため、音楽等を通じた国際文化交流会を開催した。

1 第17回クロコディロスコンサート

アメリカ・ハーバード大学男子学生によるアカペラコンサートを開催し、アメリカの音楽文化を通じて市民の国際理解を深めた。また、コンサート後、学生との交流会を実施した。

- (期 日) 平成23年6月25日(土) コンサート：午後3時～
交 流 会：午後4時半～
- (会 場) 川崎市国際交流センター・ホール他
- (内 容) 男声アカペラコンサート
- (参加者) コンサート：190名
交 流 会：96名

2 ときめき・世界の音楽シリーズ「魅惑の音楽紀行〜東京交響楽団 弦楽四重奏〜」

世界の代表的な音楽や踊りなどを生演奏で紹介することにより、国際理解の推進につながる身近なイベントとして、東京交響楽団を代表する演奏家によるコンサートを開催した。

- (期 日) 平成23年11月19日(土) 午後3時～4時半
(会 場) 川崎市国際交流センター・ホール
(後 援) 「音楽のまちかわさき」推進協議会
(内 容) 弦楽四重奏
ブラームス／ハンガリー舞曲第5番
モーツァルト／アイネ・クライネ・ナハトムジーク全楽章
ハイドン／弦楽四重奏曲第62番ハ長調「皇帝」全楽章 など
(出演者) グレブ・ニキティン(東京交響楽団コンサートマスター) 他
(参加者) 122名

3 ジュニア文化賞作品展示

受賞作品の絵画、作文の展示を行い日本の子ども文化に触れる機会を提供した。

- (期 日) 平成23年12月7日～平成24年2月18日
(会 場) 川崎市国際交流センター・情報ロビー
(内 容) 絵画13点、作文13点 計26点

〈外国人相談事業〉

■外国人相談事業

川崎市等に在住する外国人から日常生活などに関する相談を受け、情報提供と助言を行うとともに、必要に応じて関係機関・団体等への紹介を行った。

また、平成23年3月11日発生した東日本大震災においては、被災地等における外国人支援として3月18日から21日まで6ヶ国語に対応できる相談員を川崎市国際交流センターに常時配置し、即時対応ができるようにするとともに、平成24年度も被災地や川崎市等の行政機関、関係機関等からの多言語翻訳要請に対応した。

(1) 相談施設

①川崎市国際交流センター

(相談言語・相談日)

英 語	月・火・水・木・金・土	10:00～12:00、13:00～16:00
中国語	火・水・金	10:00～12:00、13:00～16:00
韓国・朝鮮語	火・木	10:00～12:00、13:00～16:00

ポルトガル語	火・金	10:00～12:00、13:00～16:00
スペイン語	火・水	10:00～12:00、13:00～16:00
タガログ語	火・水	10:00～12:00、13:00～16:00

②川崎区役所

(相談言語・相談日)

中国語	第1・3火	14:00～16:30
タガログ語	第1・3火	9:30～12:00
英語	第1・3木	14:00～16:30

③麻生区役所

(相談言語・相談日)

中国語	第1・3火	9:30～12:00
タガログ語	第1・3水	14:00～16:30
英語	第1・3木	9:30～12:00

また、毎月第4火曜日に、①～③の国際交流センター、川崎区役所、麻生区役所の相談員全員による相談報告と情報交換のためのミーティングを川崎市国際交流センターで行った。

(2) 相談員

川崎市国際交流協会相談員（6言語7名）

ボランティア相談員（区役所派遣3言語6名）

(3) 相談件数

年間相談数 1,920件

〈施設環境促進事業〉

■センター施設環境促進事業

1 川崎市国際交流センター活用推進委員会の開催

川崎市国際交流センターの活用促進を図るため、「川崎市国際交流センター活用推進委員会」を開催し、協議を行った。

(期日) 平成24年1月26日(木)

(内容) ○報告事項

・川崎市国際交流センター指定管理者について

(指定管理期間 平成23年4月1日～平成28年3月31日)

・センターの利用状況と環境整備について

センター来館者数及び利用率、図書室の取組、施設内改修及び整備実施報告
・平成23年度事業計画について

○議事案件

・川崎市国際交流センターの活用促進について

○今後の取組計画の報告

・外国人市民と共に行う消防訓練の実施について

・地下駐車場の改修について

2 センター施設の改修、環境整備等

(1) 施設の改修

① 茶室庭園松剪定工事

② 館内153箇所LED化及びこれに伴う電圧変更工事

川崎市より配給されたLEDについて茶室20箇所、特別応接室30箇所、ギャラリー44箇所、プロムナード44箇所、その他15箇所取換えを行った。

③ 正面玄関前インターロッキング修繕工事

正面玄関前の非常口用エントランスの不陸調整を行い、インターロッキングの敷き直しを行った。

④ ホール扉修繕工事

⑤ レセプションルームカーペット補修工事

⑥ ホテル棟エレベーターホールカーペット改修工事

⑦ プロムナード国旗改修工事

国旗9枚を更新し、再掲出した。

(2) 施設の環境整備等

① 交流サロンのカラオケ機更新

② 交流サロンの内装美化（壁、天井、カーテン更新）

③ レクリエーションルームにスポーツミラー導入

④ レクリエーションルームのMDコンポ更新

⑤ 会議室のホワイトボード4台更新

⑥ ホール、レセプションルーム用椅子210脚及び台車9台の更新

⑦ 一部トイレにウォシュレット（5台）設置（利用者対象アンケートより実施）

⑧ 多目的トイレにおむつ交換台（4台）設置（利用者対象アンケートより実施）

⑨ 図書資料室、団体活動ルームにLAN配線を導入

⑩ 茶室に立札用喫架5台導入

⑪ 展示ロビー用に展示パネル7台更新

3 市民共同おひさま発電所の見学会

(1) 経過等

平成20年8月に国際交流センターに「市民共同おひさま発電所」が設置された。

これは、地球温暖化対策問題に取り組む市民が中心となって立ち上げた「市民共同発電所プロジェクト」が市民、事業者から集めた寄付金とグリーン電力基金からの助成金及びap bankからの融資によって、市民自らの手により設置し、川崎市に寄付したものである。

今後は川崎市の再生可能エネルギーの導入を進めるシンボルとして、また、センターを訪れる外国人をはじめ多くの皆さまに、地球温暖化対策に取り組む川崎市民のメッセージを継続して発信していく。

(2) 設備の概要

太陽光発電（合計出力）	6.25kW
内訳 国際交流センター陸屋根設置分	4.32kW
プロムナード上部設置部分	1.93kW
事業費 約850万円	
内訳 寄付金	150万円
グリーン電力基金	700万円

(3) 主な見学者等

瀋陽市研修生、JICA研修、裾野市役所省エネビジョン策定委員、武蔵野市市民団体、茅ヶ崎REN、川崎市地域環境リーダー受講生、川崎市新規採用職員研修、tvk特別番組出演者等

〈施設運営及び維持管理業務〉

■国際交流センターの管理運営

(1) 統括業務

○施設の運営及び維持管理業務を円滑に行うため、業務間の調整を行い、職員への教育・指導を行った。

(2) 施設利用受付及び案内業務

○来館者に対するサービスに努め、会議室等の鍵の貸出し、利用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を誠実に行った。

○国際交流センターの特性として、来館される外国人市民等の皆さんに対応するため、語学に堪能な職員を配置するとともに、ふれあいネットや各種機器等への説明、接遇について研修を実施し、利用者に快適なサービスを提供するよう努めた。

(3) 施設利用促進業務

- ホームページならびに地域住民への回覧、チラシ等による情報提供を行い、効率的・効果的な利用促進を図った。
- 国際交流センターホテルとの連携を図るため、宿泊に係わる利用案内や各種関連事業開催の利便性などについて説明し、施設利用促進を図った。
- 随時、施設見学を受けて市民への利用促進を図った。

(4) 図書・資料室管理業務

- 一般図書の閲覧管理業務のほか、情報文化活動の拠点として国際交流に関わる様々な情報の収集及び分類や、本の装備と配架などの作業を速やかに行い、利用者へ最新の情報提供を行った。
- 小学生から高齢者まで幅広い利用者に対し、細やかなサービスの提供を行った。
- 利用の促進を図るため「図書・資料室だより」を毎月発行し、新着図書の紹介や、特集としてテーマ別の図書の紹介を行った。発行部数200部で近隣の公共機関及び小学校などに配布し、施設の周知に努めた。

(5) 施設・設備の維持管理及び補修業務

- 国際交流センターの施設・設備を総合的に管理し、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び補修業務を行った。
- 中央監視システムならびに施設の巡回点検を通じて、諸設備の安全な運転監視と操作を行うとともに、適切な保守管理を実施して予防保全に努めた。
- 施設の経年劣化に対応するため、施設・設備の年次補修計画を策定し、効果的かつ経済的な補修を実施した。
- 施設・設備の劣化状況や異常を早期に把握し、適切な予防措置と迅速な処理を実施して、効果的な管理運営と施設の耐久化を図った。

(6) 舞台及びAV機器等維持管理業務

- 市民文化の育成と国際文化交流の場とすべく、利用者に対し機器の使用説明と操作指導を行うとともに、ホール、レセプションルーム、特別会議室等の舞台装置ならびに機器類の維持管理を行った。

(7) 施設警備業務

- 宿泊施設を併設する国際交流センターの事情を考慮し、夜間時の機械警備と連携して一般警備を行い、防犯、防火、防災に努めるとともに、機密の保持に留意した。

(8) 駐車場管理業務

- 駐車場内での車両の適切な配置整理を行うとともに、歩行者及び自転車利用者等の安全を図り、事故防止に努めた。また、外路への渋滞回避など快適な利用が出来るよう配慮した。

(9) 設備保守点検業務

○施設機能の低下を防止し、予防保全及び機械・装置の耐久年数を伸ばすとともに、全体の機能が円滑に運用維持されるよう、各設備の定期点検及び法定点検を実施した。

(10) 施設環境衛生管理業務

○建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）に基づく環境衛生管理基準に従い、室内環境の維持、飲料水の水質管理及び館内消毒を行い、快適な利用空間を提供した。

○空気環境測定業務 年6回（奇数月）

○飲料水水質検査 年2回（2月・8月）

○給湯水水質検査

○害虫防除 年12回

○レジオネラ症対策（空調用冷却塔へ水処理剤の投薬実施）

（冷却水水質検査 年2回 6月・8月）

(11) 施設清掃業務

○施設内外を常に清潔で衛生的な状態に保ち、その保全と美観の維持に努めた。

○施設ごとに材質及び用途に最も適した方法で清掃を実施した。また、利用者の利便性を考慮して、各施設が利用されていない時間帯に適宜に実施した。

○フリースペースであるイベント広場の出入口付近は土砂等で汚損されることが多いため、常に巡回清掃に努めた。

(12) 植栽維持管理業務

○施設周囲の街路樹等を定期的に剪定し、緑溢れる空間の創造に努めた。

○イベント広場などの庭園の雑草を定期的に駆除し、利用者の憩いの場としての環境維持に努めた。

○茶室及び周辺的环境整備に努めるとともに、茶室庭園の維持管理を行った。

■ 利用実績

(1) 平成23年度 川崎市国際交流センター来館者数（月別）

4月	15,242人
5月	16,609人
6月	16,704人
7月	29,734人
8月	12,090人
9月	14,028人
10月	17,291人
11月	17,917人
12月	14,917人
1月	14,507人
2月	16,425人
3月	14,165人
合計	199,629人

※月別の来館者数は、施設利用者、一般来館者、図書・資料室利用者、インターネット利用者、各種講座・イベント等参加者の合計です。

(2) 川崎市国際交流センター施設利用状況（年間開館日数：345日）

施設名	利用コマ数	稼働率%	施設名	利用コマ数	稼働率%
ホール(264)	685	66.0	特別会議室(28)	67	6.5
レセプションルーム	621	60.0	特別応接室(8)	79	7.6
会議室(第1)(36)	528	50.9	料理室(24)	209	20.2
会議室(第2)(24)	739	71.2	交流サロン(30)	858	82.9
会議室(第3)(24)	602	58.2	茶室	254	24.5
会議室(第4)(30)	596	57.6	レクリエーションルーム	961	92.6
会議室(第5)(30)	568	54.9			
会議室(第6)(18)	861	83.2			
会議室(第7和室)(10)	709	68.5			

(注) 1. ()は定員

2. 利用コマ数は、利用区分（午前、午後、夜間）合計の実利用数

3. 稼働率は、小数点以下2桁を四捨五入

※申し込みは、川崎市公共施設利用予約システム（ふれあいネット）による申し込み及び抽選。

但し、ホール、レセプションルーム、特別会議室、特別応接室は直接センターの窓口で受付。